

児童発達支援自己評価表（事業所職員向け）

児童発達支援 おひさま 大野南教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動や人数によっては狭いときもあるためグループ分けをして工夫している</li> <li>・フリースペースと机を置いているスペースに分けているので自由な時間でもゆっくり活動に集中できる／2階にも運動ルームや個別訓練室がある</li> <li>・運動ルームを使用するときは年長児で身体も大きいいため少人数で対応している</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日によっては見守りの目が足りないと感じる</li> <li>・職員の人数は多めだが少ないときは声をかけ合い周知を行っている</li> <li>・定員に対しての基準職員+2～3名は配置している</li> </ul>
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マットの色によって視覚的に使い分けが分かるように工夫されている</li> <li>・バリアフリーにはなっていないが凹凸が少なく今後必要に応じて検討できる。</li> </ul>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次亜塩素酸の噴霧器が各部屋にあり、活動ごとに机を消毒するなどしている</li> <li>・療育ルームにはエアードッグも設置している</li> <li>・一人のスペースも十分確保されている</li> </ul>
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月話し合いの時間を作っていて、申し送りノートなどで共有できるようにしている</li> </ul>
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後公開された評価をもとに改善していきたい</li> </ul>
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにて公開している(ご意見に対する対応等も記載)</li> </ul>
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会はあるので参加していきたい</li> <li>・必要に応じて研修を行っている</li> </ul>
適切 な支 援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者が保護者との話し合いのもと作成してくれている</li> </ul>
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自のチェックシートを使用している</li> </ul>
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの支援に必要な支援内容が設定されている</li> </ul>

	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・提供記録の上部など常に目に入る場所に記載されており、意識して支援することができる
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	○	・野外活動や制作、学習、個別とトレーニング等、職員の得意不得意を活かしてプログラムを立案している
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・月ごとに季節を感じられるよう工夫している
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	○		・児童発達管理責任者が職員と話し合い作成している
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝の送迎前などに確認を行っている ・前日までに大まかな段取りをし、当日朝に細かい打ち合わせや担当を決めている
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・全員での共有という点においては申し送りノートを利用して行っている
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・利用時に個々の提供記録を取っており、必要に応じて支援計画へつなげている
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・定期的にモニタリング会議を行っており、必要に応じて面談し計画書の見直しをしている
関係機関や保護者	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・提供記録をもとに振り返り、児童発達管理責任者が主に参加している
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要に応じて連携をしている
	㉓ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・利用開始前に生活シートや支援計画書などをお渡ししている。申し送りができる所は直接伝えている。
	㉔ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・進学先の小学校や支援学校・放課後等デイサービスと情報共有している

障害との連携関係機関や保護者との連携	②5 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○	・併用事業所と連携を取り意見交換ができる場を設けている
	②6 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	○	
	②7 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等に積極的に参加しているか	○	○	・機会があれば参加したい ・管理者・児童発達管理責任者のみ参加している
	②8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○		・連絡帳でのやりとりや送迎時でのコミュニケーションを大切にしている
	②9 保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか	○	○	・連絡帳でのやり取りや送迎時に聞き取りをしている ・個別で相談があれば面談をしている
保護者への説明責任等	③0 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・見学や契約時に伝えている
	③1 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・個々の成長に合わせて支援内容を計画し保護者に同意を得ている
	③2 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・必要に応じて個人面談を行っている
	③3 父母の会の活動の支援したり、保護者会等の開催する等により保護者同士の連携が支援しているか		○	・保護者同士の連携はありません
	③4 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・保護者とラインでつながり気軽に相談できるような体制を整えている ・申し入れがあればすぐに面談を行っている
	③5 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・連絡帳に書類をはさむなどしている
③6 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・鍵付きキャビネット等で管理している ・連絡帳で使用する写真はその日のうちに削除している	

	③7	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	③8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・行事はないが野外活動時の挨拶は子どもたちとしている
	③9	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	○	・定期的に避難訓練をしている ・子ども向けの防犯訓練(いかのおすし)の実施 ・職員控え室にマニュアルを置いている／手順を貼っている
	④0	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	○		・定期的な防犯、避難訓練を行っている ・避難場所に子どもたちと歩いて確認している
	④1	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時に確認している
非常時の対応	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・必要に応じて医師の意見書や服薬の同意書をもっている
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・他事業所とも共有している
	④4	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・外部の研修を受けている
	④5	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束は原則禁止としており記載は行っていません